

# 北海道建築士

HOKKAIDO KENCHIKUSHI 2015.01.No209

1月号

## 目次

あたらしい年に望んで	1
実行委員会報告	2
ブロック会報告	5
青年・女性の窓 〔青年委員会〕	6
道士会の動き	7
information	8

URL <http://www.h-ab.com/>



## あたらしい年に望んで

一般社団法人北海道建築士会 会長 高野 壽世

新年明けましておめでとうございます。皆様には、ご家族の方々とご一緒にすがすがしい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。昨年、全道大会旭川大会は、「都心 ルネッサンス」をテーマに盛会のうちに終えることができました。旭川支部、道北ブロックの皆様には1年にわたる周到な準備に心から感謝を申し上げます。今年、その旭川支部からバトンを受けた紋別支部がオホーツクの地、紋別市で全道大会を開催いたします。皆様方には挙っておいでくださいますようお願いいたします。

昨年は**建築基準法の改正**のほか日本建築士会連合会、日本建築士事務所協会、日本建築家協会の三会が提出した「設計・工事監理の業の適正化及び建築主等への情報開示の充実に関する共同提案」に基づき、書面による契約の義務化、監理建築士の責務の明確化、建築士免許証提示の義務化等々、**建築士法が改正**になりました。これは、各会それぞれが単独ではなかなか叶わなかったことが、三会合意により実現の運びになったもので、これからの三会の協力体制に弾みがついたと考えております。勿論これら法改正の内容につきましては、私たち建築士がしっかりとその実効性を上げていかなければならないと考えております。大幅な法改正を受けて、本会では、恒例となっている「建築基準法講習会」について開催回数を増やして実施する予定にしております。多くの皆様の受講をお願いするところであります。

**専攻建築士の登録更新**につきましては、従前から指摘されていた手続きの煩雑さを解消するため、今年からWEBでの更新申請を可能とし、その申請手数料も格安となりました。今まで、なんらかの事情で登録更新をしていなかった方もCPD単位さえ満たせば改めて登録更新が可能ですので、是非この機会に手続きをしていただければと思います。また、専攻建築士制度と同様に独自の自主認定資格を運営する四会（日本建築家協会、日本建築構造技術者協会、建築設備技術者協会、日本建築積算協会）と、相互理解を深めるとともに、協同でそれぞれの認定資格のPR活動を進めていくため、昨年、五会によ

り**J5**（各会の共通するイニシャルJと5会の5による）を立ち上げ、9月9日東京において五会の会員による意見交換会を開催いたしました。五会では、各地域においてもJ5を設立し行政機関をはじめ社会に向けてPR活動を展開することを目指しており、北海道においては、昨年、全国に先駆けて5月20日J5北海道を設立し、8月6日の道との懇談会の中で五会の自主認定資格とJ5の活動について理解を求めたところであります。本会では、今後ともCPDと同様に専攻建築士が広く活用されるよう活動を進めていきたいと考えております。

昨年、本会では、北海道文化財保護協会、NPO法人歴史的・地域資産研究機構と実行委員会を設立し、地域に眠る歴史的建造物の保全活用を図ることにより、地域固有の風景を回復し、誇りの持てる地域づくりに貢献することを目的として**ヘリテージマネージャー**及び**コーディネーター**の育成を行いました。今後、ヘリテージマネージャー等が歴史的・文化的遺産の調査、文化財登録に関する提言、保全・活用の企画提案、普及活動等を行う専門家として活躍することを期待し、その活動を支援してまいります。

平成19年、帯広市において全国大会が盛大に開催されたことは、皆様の記憶にまだ新しいことと思います。その**全国大会**が、連合会理事会において東京オリンピックの前年の平成31年、北海道開催と決定されました。本会では昨年12月の理事会におきまして全国大会準備委員会を設立し、まずは各支部の意向を踏まえ開催地の調整から始めたいと考えております。まだ先の話ではありますが、皆様のご協力をよろしくお願い致します。

本年も東日本大震災の復興や公共事業の増加による建設資材の逼迫、建築技術者の不足という状況が予測されますが、本会では、その社会的役割をしっかりと堅持するため、会員増強そして組織強化を喫緊の課題として引き続き取り組んでまいります。どうか、皆様のお力添えを重ねてお願い申し上げますとともに、皆様のますますのご健勝とご多幸を祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

**総務委員会活動  
への抱負**  
総務委員会

委員長  
**西岡 誠** (札幌支部)



日頃より会員の皆様方におかれましては総務委員会ははじめ、各実行委員会活動にご理解とご支援を賜りまして、大変ありがとうございます。

総務委員会としましては、会員の皆様に寄り添った組織の在り方と、基盤の強化に努めておりますが、永らくの間、建築士になる方の実数が減少していることと、特に都市域において建築士会に入会していただける方の割合が減っていることとあいまって、残念ながら会員数の減少が続いております。

会員の減少は、会の存亡にもつながり、ひいては皆様の技術力向上、業務の進歩改善への支援を建築士会としてサポートできないこととなりかねません。そのようなことにならないように委員会メンバー全員が危機感を持ち、意見を出し合い、方策を導き出そうと努力を積み重ねておりますので、そう遠くない段階に有効策をご提示できればと考えております。

また建築士会は実務に対しての情報提供とともに、会員の方々の親睦に資する会であるとも考えております。委員会活動自体も建築士会のさまざまな懸案事項を協議する場ではありますが、会議の後は委員相互の交流を楽しめる委員会でありたいと思っております。



委員会後、懇親会にて

**各支部で  
建築技術講習会を  
事業委員会**

委員長  
**稜川 正人** (旭川支部)



早いもので事業委員長を引き受けてから1年が経過しました。

現在、事業委員会で所管している主要な事業は建築技術講習会です。

この事業については、一昨年より各支部にアンケートを採り運営の全てを本部で行う形から、本部が主体となりテキストを編集し、講習会の開催の主導権を支部が行う方法で行ってきました。支部の事情に応じ、受講料や開催日程、会場を支部が自由に設定することで、支部会員へのサービス向上（CPD取得など）や支部収益を高め、支部の独自性を生かした講習会の開催が可能となり、支部活動の活性化につながると進めてきたものです。しかし、実際に講習会を開催していただけた支部が少なく、作成したテキストも多くの在庫を抱えているのが現状です。

今後も周知活動を行い、支部での講習会の開催を支援していきませんが、支部開催のサポートを行う一貫として今期は道南・道央・道東・道北の各ブロックで第56回と第57回及び既存のテキストを使った講習会の開催を行いたいと考えています。これは講師派遣及び告知を本部が行い、開催場所・日時はブロックないし開催支部が設定する形式で、計4回開催したいと考えていますのでご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

委員会としましては、今後も会員のみなさまのニーズに合わせたテキストづくりと、各種講習会の企画運営を行ってまいりますので、ご意見ご要望等がありましたら本部の方までご連絡ください。

**「わくわくする会誌」を  
めざして**  
情報委員会

委員長  
**神田 光英** (十勝支部)



あけましておめでとうございます。今年も宜しくお願い致します。

昨年は委員会メンバーと松崎常務理事、事務局の協力のもと、何とか一年間委員会活動をやってこられました。皆さんに毎月1日に届く会誌の発行がメイン事業となりますが、年間スケジュールを組み遅れることがないように作業を進めてまいりました。皆様にも原稿を依頼し、実行委員会・ブロック会の報告、支部だより等ご協力いただきました。ありがとうございました。残念なことに支部によっては会員の減少により原稿を書く人がいない！という声も聞き現実を知りました。当委員会でも会誌を通じて会員拡大に役立つものはないか模索しなければならぬと思っています。

新しい誌面づくりを目指し努めてまいりましたが、これほど難しいとは思いませんでした。「北海道建築士」を月刊の発行にし、5年目に突入します。会員皆様からの新鮮な情報、ご要望を多く取り入れ、「わくわくする会誌」「待ち遠しい会誌」に少しでも近づきたいと思っておりますので、今年もご理解とご協力を宜しくお願い致します。

また、昨年に引き続き全道大会での「号外」も発行したいと思っております。開催支部、実行委員会と連携し楽しい紙面にしたいと思っておりますので、あわせてご協力お願いいたします。





## 景観整備機構 の指定へ

### まちづくり委員会

委員長

**佐藤 芳則** (苫小牧支部)



まちづくり委員長を引き受けてアツという間に1年が過ぎてしまいました。私以外はベテランぞろいの委員会なので安心して過ごさせていただきました。

昨年、私にとって初めてのWeb会議を開催しましたが、顔を突き合わせての会議と違って、お一人お一人の表情が読みづらく、苦労しました。

さて、今年も地域におけるまちづくり活動の推進と支援ということで、まちづくりフォーラムを開催します。今回は道南の江差町です。歴史的建造物や町並みが残る独特の風情の中でまちづくりを考えていきたいと思えます。

全道大会紋別大会の分科会の取り組みや連合会まちづくり委員会の活動への参加は例年通りですが、今年も北海道への景観整備機構の指定申請という節目の事業が控えております。昨年の全国大会ふくしま大会の交流セッション①で、青年・女性・まちづくりの3委員会合同のセッションが行われ、その総括において「防災や景観といった社会課題における自治体との連携の強化をより一層はかろう」と宣言されました。北海道建築士会にとっては応急危険度判定くらいしかなかった行政との連携が、北海道から景観整備機構の指定を受けることにより、行政とより密接な関係が生まれ、全道各支部の活動の中が広がると同時に、建築士の職域の中も広がるのでは、と期待しているところです。

今年も、合同セッションで出されたキーワード「継続的な情報収集と発信、そして共有化による地域コミュニティの形成」を念頭に委員会活動を行っていきたく思います。

## 光る個性

### 女性委員会

委員長

**本間 恵美** (小樽支部)



女性委員会委員長になり3年が過ぎました。各事業を進めてこられたのは、委員をはじめ皆様の支えのおかげと感謝しています。

女性委員会の、北海道内の主な活動は、**全道大会分科会と女性建築士の集い**の企画・運営です。担当者には、企画から会誌の報告までに携わってもらいます。毎回の企画・運営には担当の個性が光ります。企画を最後までまとめることは大変な労力ですが、やり遂げたときの達成感を感じて欲しいと願っていますし、その経験は後できっと役立つことでしょう。

昨年からは始まった、**家庭科住教育出張講座**は、委員会メンバー以外の男性や、今まで士会活動をしていなかった会員にも興味を持っていただき、参加してもらいました。今年も全道各地の高校での開催のほか、建築士向けセミナーも企画しています。是非ご参加ください。

連合会活動は、**全国女性建築士連絡協議会**の分科会で、毎年の活動報告を目指しています。今年も2月27日・28日に開催され、旭川支部の齊藤裕美さんがF分科会「子供と住環境」で、3年間行っている旭川支部女性委員会と旭川工業高校生とのワークショップについて報告をします。

その他、**各ブロック活動への支援と連合会「高齢者タスクフォース」**のアセスメント事業に参加します。自然災害の多い昨今、HUGやDIG等の**防災活動**にも引き続き取り組みたいと思えます。

若いメンバーの活躍が頼もしい女性委員会です。さて、今年はどうな個性が光るでしょうか？わくわくしています。

## 行政や企業との 「連携」

### 青年委員会

委員長

**針ヶ谷拓己** (札幌支部)



今期の青年委員会がスタートして早一年。「建築士(会)のブランド力アップ」を目標に、建築士会活動の推進とアピールを進めてきました。特に平成26年は「行政」や「企業」から注目されるような活動に力を注いでまいりました。

昨年3月に行われた全道青年委員会連絡会議では、道内各地からあらゆる職域(設計・施工・行政・その他)の青年建築士が集い、建築士会ならではの職域間の上下関係を払拭した状況の中、「建築産業界の問題点の共有とその解決」について熱い意見交換が行われました。全職域で共通の問題として挙げたのが「人材不足」。特に若手の人材不足解決には、将来を担う子どもたちに建築産業界の魅力を大いにアピールすることと、現在、建築産業界に従事している若者に対しても、将来への希望を与えられるよう、労働環境を良くするとともに、上司先輩たちは、楽しく、そして情熱を持って仕事に携わっている姿を見せていくことが大切という結論に至りました。この意見交換の全ての内容を報告書にまとめ、日本建築士会連合会へ提出し、現在、中央官庁への陳情について検討しているところです。この報告書は青年委員会のホームページに掲載しておりますので、是非ご覧になってください。

平成27年は、行政や企業に「注目」されるだけの活動に留まらず、実際に行政や企業と「連携」していくような活動にチャレンジし、より質の高い社会貢献を行い、建築士(会)のブランド力アップに繋げていければと考えています。どうぞよろしく願いいたします。

## 今年も地域貢献活動 に助成します

地域貢献活動センター委員会

委員長

久島 正嗣 (札幌支部)



昨年（平成26年）は地域貢献活動として4件の助成申請があり、本委員会にて申請内容を審査した結果、次の2件の活動に対し助成することにいたしました。

1件は夕張郡栗山町の「匠まつり実行委員会」による「匠まつり」です。地域の皆様と建築に係る皆様が協力して、子供達から広く町民の皆様まで、木にふれてものづくりの楽しさを経験してもらうイベントです。

もう1件は室蘭市の「蘭歴建見会」による「ワクワク！けんけん講座」です。室蘭の歴史的建物の特徴を学ぶことで、地域への愛着を育てるとともにまちづくりへの興味を喚起させ、今後の活用や保存を考える活動の一環です。

また第39回北海道建築士会全道大会（旭川）では、平成25年助成事業となった北海道建築士会宗谷支部の宗谷管内小学生による絵画コンクール「ぼくの・わたしのこころ一番」、たきかわ紙袋ランタンフェスティバル実行委員会による「第12回たきかわ紙袋ランタンフェスティバル」の活動内容についてパネル展示によりご紹介させていただきました。

今年も昨年に引き続き1月より本会ホームページやリーフレット、また青年・女性・まちづくり各実行委員会との連携を通じ募集してまいります。継続して3年以上建築士会に在籍する建築士が2名以上参画している活動グループで、住民主体の地域づくりと建築士を結びつける営利を目的としない活動が条件となります。申請期間は9月下旬までとなっていますので、是非ご活用ください。

## 地震国日本

被災地応急支援特別委員会

委員長

牛田 健一 (札幌支部)



あけましておめでとうございます。本年も宜しくお願ひいたします。

地震の多い国日本、昨年1月から10月末までの間に、全国で最大震度5以上は8回、震度3以上は157回もの地震を記録しています。また、御嶽山の噴火に見られるように各地の火山でも活発な活動が表れています。

被災後の建物における二次災害を防ぐための応急危険度判定は重要な活動ですし、この知識を基に減災や防災を考慮した家づくり、まちづくりも建築の設計や施工の業務では大切なことです。

建築士の資格を持つ方は、全員が応急危険度判定の重要性を認識し、講習を受けることをお勧めします。万が一何処かで被災を受けた場合に協力する等の活動を通じて、建築士の社会貢献として市民から認められることに繋がると思っています。

過去の地震被害時に本道から応急危険度判定士を派遣する例は多くはありませんが、次は自分住む地域の可能性もあります。遠い地域の話と考えずに、自分・家族・地域のために「**震災建築物応急危険度判定士**」の登録と、「**被災地応急ネットワーク**」への参加をお願いいたします。

本委員会では昨年3支部（日高・恵庭・十勝）で机上訓練を行いました。今年も2支部で開催を予定しています。また、支部や地域単位で開催の要望がございましたら対応は可能と思えます。是非一度机上訓練への参加をご検討ください。

※応急危険度判定机上訓練（旭川会場）開催します。

P7道士会の動きをご覧ください。

## 来年度のヘリテージマネージャー 専門職育成講座に向けて

ヘリテージマネージャー特別委員会

委員長

山内 一男 (函館支部)



ヘリテージマネージャーは28名コーディネーター8名が昨年度、専門職育成講座修了書を授与されました。最後の修了考査合格の条件はありますが、真剣な講義受講状況から、課題をクリアすると信じています。

周りからヘリテージマネージャーの講義は「興味を惹くもので楽しいよ」と、会員からの声が聞こえてきました。職人も学芸員も建築士と一緒に机につく。回ごとに座る場所は一定でない。隣の人との自己紹介、名刺交換から始まるのだから人が繋がり楽しい。講義は専門的だが興味を懐かせる内容なのです。しかし60時間の講義に札幌への移動、ハードな5ヶ月間。

来年度は費用が少ない時間の工夫が必要で、札幌以外の会員が参加しやすいカリキュラム作成を考えなくては思っています。

北海道の各地域に建築士がいるように、ヘリテージマネージャーがいて欲しいと思います。そして地域には建造物で歴史的資産となりうる建物は、歴史が浅かろうが必ずあるはずで、それらまちの歴史的資産をまちづくりに活用する方法も、これからの新しい町の開発だからです。

道南、道央、道東の会員が参加してくれました。来年度は道北の会員方に是非とも参加を要請したい。それはヘリテージマネージャーを認知してもらい、地域で活躍して欲しいためです。北海道ネットワークを作り、力にしたいからです。法第3条の適用除外に、国指定以外の地域資産の建物も条例で除外が可能なのです。続きは又、道北会員の参加を待っています。



## 道央ブロック

### 道央ブロック会議報告

副会長 **鈴木 基伸** (札幌支部)



11月7日道央各支部の支部長が参加し、道央ブロック会が本部事務局会議室において開催されました。周知のとおり会議の主目的は会員の増加を図るところにあります。過去の会議において会員減少の主な原因はほぼ抽出されており、今回はその再確認とその後の各支部の動向等の報告を含め意見が述べられました。この中で話題の中心となったのは若年会員の最近の傾向と企業等組織内における基礎的技術力の保持・底上げについてでありました。若年層の交流や活動の性向はこの20年余で明らかに変化しており、彼らの支部内の立ち位置確保や動き易い活動に如何にして効果的な予算処置を講じるか、又中堅以上の技術者が過去に先輩などを通じて習得し常識として身につけた技術などが近年はその手法自体が失われかけ危機感を覚えた経験が報告されました。基礎的技術の習得には従前と少々趣を変えた講習会の開催も少なからず必要との考えが述べられ、支部活動については都市部の実践活動が地域と連携する術、又ヘリテージ的活動も支部間協働の可能性とその地域貢献活動化への模索も語られました。高野会長からは技術講習テキスト有効活用の更なる要請と連合会の話題として、他団体の会員増強事例や本会の会員資格の弾力的運用案への考え方などが述べられ、今回のブロック会は散会しました。

## 道北ブロック

### 道北ブロック会議開催

支部長 **小幡 光男** (留萌支部)



10月21日本部より高野会長、道北8支部中6支部の参加により、第2回道北ブロック会議が開催されました。

主に、各支部の現状や、会員増強について話し合いが行われ、次のような意見が出ました。

- (1) 現状としては、建設業に従事している職員が少ないまま回復していない。
  - ① 人口の減少
  - ② 退職者の補充がされていない。
  - ③ 今の仕事量が一時的ではないのか？(新しく雇用できない)
- (2) 案としては、コミュニケーションを図り、仲間意識を高める。
  - ① 建設業従事者同士のコミュニケーション。
  - ② 振興局や市、町などの建築担当者とのコミュニケーションを高め、会員になりたいと思ってもらう。

以上のような話し合いが行われ、会員の退会防止や会員の増強に繋がればと思いましたが、「言うは易く行うは難し」まずは一歩。

その後、懇親会に移り、留萌の美味しい寿司と酒を肴にざっくばらんに話し合い、やっぱりコミュニケーションは大事だなと思いました。

会議2時間、懇親会4時間の有意義な一日でした。

## 道南ブロック

### 道南ブロック会からのヒント

統括理事 **山内 一男** (函館支部)



会議冒頭、会長より旭川大会参加のお礼と翌年度の紋別大会参加の要請願いがあり、平成31年開催予定の全国大会北海道大会のスケジュールの話から始まった。

課題の会員増強については、退会者が入会者を上回る状態が続いている状況が報告される中、各支部の活動報告は士会入会のメッセージより、建築界での若い人材育成や確保に向けての取り組みと重ね合わされ、時間を要するが確実な方法だと感じた。

小学生とのまちづくり・景観を配慮した案内板作成。活動予算を青年層を取り組むために増額。工業高校卒業設計の表彰。自治体の植樹参加。古民家の見学を通して地域に入る取組み。二代目の建築専門技術関係者の勧誘。まちの中で汗をかく。自治体の若い人と士会の若手との接点づくりなど、支部の様々な活動を通じて人材・会員の確保と地域・自治体との連携からヒントがあった。

各支部の財政的な支えが厳しい状況だが自治体や地域のまちづくりに建築士会の旗を持って、汗をかくことは出来そうである。建築士をアピールして若い人を参加させることから始めようか。

## 道東ブロック

### 道東の踏ん張り

統括 **庵 敏幸** (北見支部)



平成26年第2回ブロック会議は10月10日釧路支部大宮支部長の配慮により釧路市阿寒湖温泉にて開催されました。

10支部中9支部が参加し、本部の高野会長を含め11名の一泊膝づめ会議となり、会員増強テーマでは十勝支部独自の建築の実務を学ぶという構造を主とした学習テーマで勉強会を開催し、会員の他にも建築に伴う資材関連会社等にも呼びかけてされた事例報告がなされまた、会員増強の基本となる建築士試験受験者が道東で減少している。各支部での仲間意識や親睦を図る目的で各種レクリエーション等で建築関連業種の参加も呼びかけて実施している事例も発表され、高齢化により現状の会員を維持することにも相当の力を入れている支部もありました。

次に、来年度の全道大会は当ブロックの紋別開催で、高野紋別支部長より「第40回記念の年でもありぜひ全道から多くの参加を望んでいる」と意気込みを感じ、道東ブロック会発足後初の大会でもあり各支部長の強力な協同体制で進めていくこと、また、本部高野会長より「全国大会の北海道開催は平成31年、東京オリンピックの前年に予定している」等の報告もあり、大会開催が地域活性化の一つとして建築士会が各地で協力貢献していくことを確認した。

## 青年委員会

### 「青年本部、26年の振り返り」

青年委員会委員

福澤 誠 (室蘭支部)

月日の経過は非常に早く、もうすぐ平成26年の終わりを迎えようとしています。

本年から、道南ブロック長を務めさせていただいておりました、同時に本部の青年委員の立場として初めて活動をさせていただきました。

本部青年委員会が新組織となつて平成26年1月に開催された第1回青年委員会。全道各地から集まった本部青年委員の方々には初顔合わせの方も多くおられ終始緊張した委員会でありました。本部の委員会はWeb会議も含めて年に4回しか行われず、会議の中ではとても内容の濃い議論が行われます。主に年間に行われる事業の「連絡会議」「青年の集い」「建築士の日のイベント」「全道大会」における役割や内容をまとめ、確認することがメインとなります。

#### 全道青年委員会連絡会議

日時 平成26年3月29日(土)

場所 かでる2・7



全道青年連絡会議では、各支部青年委員長をはじめとする全道の青年委員参集のもと、1年間の青年委員会の事業方針、事業計画及び予算について報告するとともに、地域社会に応えられる建築士の育成を目的とした研修会を行い青年層の資質の向上を図る場として開催されました。研修会では

「CADからBIMの時代へ」と建築技術の先端のセミナーが開催され、第2部のワークショップでは「建築産業界の問題点共有とその解決」をテーマに、建築産業界の問題やその解決策について、あらゆる職域の方が集まる全道青年委員会連絡会議にて、青年らしい発想のもと、熱い意見交換が行われました。

#### 青年建築士の集い

日時 平成26年5月17日(土)

場所 帯広競馬場



北海道遺産であり、世界で唯一の「ばんえい競馬」の歴史と現状を学び、青年建築士の立場で競馬場のさらなる魅力作りを提案するとともに、ワークショップ等を通じて会員同士の交流を図る目的で開催されました。このばんえい競馬場を、多くの市民が訪れやすい施設となるように、建築士の立場でグループごとに提案を行いました。

#### 建築士の日イベント

日時 平成26年6月21~22日

場所 新さっぽろサンピアザ

建築士の仕事や建築士会活動を一般市民にPRするとともに、未来を担う子どもたちに建築士を目指してもらえよう、「建築」に楽しく触れ合うことのできるイベント。各支部で行われている事業を4ブースに分けて、自由に建築のお仕事を体験してもらえます。未来の建築士の子どもたちが、お仕事をするとイベント通貨

(チーク) がもらえ、そのチークでお菓子やおもちゃを模擬店で買うことができ、市民と直接触れ合うことのできる2日間のイベントでした。

#### 全道大会青年サミット

日時 平成26年9月26日(金)

#### 全道大会C分科会

日時 平成26年9月27日(土)

場所 旭川市

青年サミットでは「旭川の今～今の旭川を感じ、未来に何が必要か～」というテーマに沿って、まず旭川の街の説明から始まり、今の旭川を感じ取るために、4箇所に分かれて実際に街を歩き、そこで感じたことを持ち寄り、グループに分かれて、特色、良かったところ、悪かったところをそれぞれ意見出ししました。そしてこれからの旭川に「何が必要か」を考え、発表しました。

C分科会では、旭川駅周辺開発地区である「北彩都あさひかわ」の一角の空地に青年建築士の目線で旭川の未来に求められているものを建設することを想定し、企画、提案するワークショップを行いました。

一年を振り返るとたくさんの活動を行うことができました。

建築士会のメリットについて、よく議論が行われておりますが、青年委員会では、ひとつ事業を成功させるために、関わるすべての仲間の知恵と考えを個々に出し、ひとつになることによって、そこでする最善のものが生まれます。それは自身のスキルアップにつながることで達成感を持つことにもつながります。この経験は、社会や職場での場面で必ず発揮することができるスキルかと思えます。

任期が半分終わり、あと一年。また楽しくこの場で学ばせていただきます。



## 2015年 北海道建築士会年間行事予定

1月	第48回建築基準法講習会 (19日～30日)	7月	二級建築士学科試験 (5日予定) 一級・木造建築士学科試験 (26日予定)
2月	第48回建築基準法講習会 (2日～25日)	8月	二級建築士学科合格発表 (予定)
3月	第1回理事会 (12日) 定時総会 (27日) 全道青年委員会連絡会議 (28日)	9月	第3回理事会 (4日) 一級・木造建築士学科合格発表 (予定) 二級建築士設計製図試験 (13日予定) 第40回北海道建築士会全道大会 (紋別大会) (18日・19日)
4月	二級・木造建築士試験受付 (予定)	10月	一級・木造建築士設計製図試験 (11日予定) 建築士会全国大会 (石川大会) (30日)
5月	一級建築士試験受付 (予定) 青年建築士の集い (後志) (16日) 第2回理事会 (22日) 支部長・事務局合同会議 (30日)	12月	一級・二級・木造建築士設計製図合格発表 (予定) 第4回理事会 (4日)
6月	青年委員会「建築のお仕事体験イベント」 (20日・21日)		

### 第5回 高校生の「建築甲子園」道予選

(公社)日本建築士会連合会主催の「建築甲子園」は、今年で5回目の開催になります。今年は1点の応募があり、審査会にて北海道名寄産業高等学校のタイトル「一致団結」を代表校に決定しました。

全国選手権の結果は、平成26年12月決定し、1月表彰式を予定しております。



### 平成26年度 第四期 建築士定期講習 受講案内

建築士事務所に所属する方で、平成23年度(平成23年4月～平成24年3月)に建築士定期講習を修了した方は、今年度が更新の受講年度となります。

開催地	開催日	開催地	開催日
札幌市	1月26日	北斗市	2月25日
釧路市	2月12日	旭川市	2月26日
帯広市	2月18日	札幌市	3月18日
北見市	2月20日	苫小牧市	3月19日

※受講案内、受講申込書の郵送も行ってまいります。本部事務局 (011-251-6076) までお問い合わせください。

### 平成26年度 応急危険度判定士認定講習会ご案内

- ・札幌市内及び旭川市内で追加開催します
- ・講習会会場で更新申請を行うことが可能になりました

有効期間が来年度(平成28年3月末)までの方も、有効期間満了の前年度中から受講可能なので、早目の受講をお願いします。また、平成27年1月1日からの制度改正により、更新のために講習会を受講された方(平成26年までに受講済みの方も含む)は、その時点から更新申請が可能となり(更新すると、更新前から有効期間が5年延長され)ます。(今後は、講習会受講後の会場において、全ての更新対象者に更新申請していただくことも可能になります。)

※問い合わせ先

(一社)北海道建築士会 011-251-6076

開催地	開催年月日	会場名	開催時間
根室市	1月22日(木)	根室振興局 3階大会議室	13:00～16:00
釧路市	1月27日(火)	釧路総合振興局 3階会議室	13:00～15:00
札幌市	2月3日(火)	北海道自治労会館 4階ホール	14:00～16:00
苫小牧市	2月5日(木)	苫小牧市職員会館	13:00～15:00
江差町	2月5日(木)	檜山振興局 301号室	13:00～15:00
稚内市	2月5日(木)	宗谷総合振興局 保健所2階6号会議室	13:00～15:00
旭川市	2月13日(金)	上川総合振興局 2階204号会議室	13:30～15:30

### (一社)北海道建築士会 被災地応急支援特別委員会主催 応急危険度判定訓練(旭川)

写真パネルをもちいた机上訓練を行います。

旭川支部会員はもとより近隣支部会員の参加をお待ちしています。

※これから判定士登録を予定されている方も参加できます。

開催日時: 1月21日(水) 13:30～16:00

開催場所: トーヨーホテル3階(翡翠の間)

※詳細は、北海道建築士会HPをご覧ください。申込用紙がダウンロードできます。

問合せ先: 北海道建築士会 011-251-6076

## 道士会の動き

### 道本部の主な会議報告

#### ◆第5回理事会

〈開催日〉12月5日(金)

〈議案〉議題はすべて承認済み

- 1) 平成26年一般会計事業報告(10月末)及び収支決算見込について
- 2) 平成26年特別会計事業報告(10月末)及び収支決算見込について
- 3) 第39回全道大会(旭川大会)事業報告及び収支決算(案)について
- 4) 監理技術者講習の登録申請及び実施(案)について
- 5) 景観整備機構への指定申請(案)について
- 6) 「まちづくりに係る建築士会等と自治体との連携強化のための方策検討事業」への応募について
- 7) 全国大会準備委員会の設置について
- 8) 札幌支部及び北広島支部の財政調整積立金の取崩(案)について
- 9) 平成27年一般会計事業計画及び収支予算(案)について
- 10) 平成27年特別会計事業計画及び収支予算(案)について
- 11) 定款第6条に基づく会員の入会承認(案)について

#### ◆第3回女性委員会

〈開催日〉12月13日(土)

〈議案〉

- 1) 平成26年女性委員会の事業報告及び収支状況報告について
- 2) ブロック活動報告
- 3) 平成27年女性委員会の事業計画(案)及び予算(案)について

#### ◆青年委員会小委員会

〈開催日〉12月16日(火)

〈議案〉

- 1) 平成27年青年建築士の集い企画内容について
- 2) 平成27年青年サミットの企画について

### 道本部の主な行事予定(1月)

- 19日～30日 第48回建築基準法講習会(札幌市他)
- 26日 第4期建築士定期講習(札幌市)

## 編集後記

明けましておめでとうございます。

昨年は、全道大会号外を懇親会までに発行しました。情報委員が取材・編集することで、委員の結束が強まり、会場で熱心に読んでいただいていることも肌で感じることができました。新年号から3月号の表題の色は、熱気とやる気の「赤」です。今年も道士会の活性化の一助として、ホットで、わくわくするような情報をお届けしたいと思います。

常務理事 松崎 健児

### CPD認定プログラム(12月認定)

#### ◆地震防災セミナー in札幌

〈日程及び会場〉平成27年1月21日(水)  
13:30～15:30  
札幌市教育文化会館(札幌市)  
2単位

〈単位数〉

#### ◆地震防災セミナー in旭川

〈日程及び会場〉平成27年1月23日(金)  
13:30～15:30  
旭川市民文化会館(旭川市)  
2単位

〈単位数〉

上記セミナーともに

〈問合せ先〉北海道建設部住宅局建築指導課  
TEL 011-204-5097

#### ◆建設工事に伴う労働災害・交通事故防止講習会

〈日程及び会場〉平成27年1月22日(木)  
13:30～17:00  
北海道建設会館(札幌市)

〈単位数〉

〈問合せ先〉(一社)日本建設業連合会  
北海道支部 TEL 011-261-6245

#### ◆応急危険度判定机上訓練(旭川会場)

〈日程及び会場〉平成27年1月21日(水)  
13:30～16:00  
トーヨーホテル(旭川市)

〈単位数〉

〈問合せ先〉(一社)北海道建築士会旭川支部  
TEL 0166-22-8894

## 平成27年度

### (一社)北海道建築士会会員作品の募集

みなさんの手がけた建築作品を広くアピールしてみませんか。応募作品のすべては、本会ホームページに掲載します。また、その中から4点程度を選考し9月発刊「北海道建築士No.217」に掲載します。多くの会員の応募をお待ちしています。

※応募要項など詳細は、3月発刊「北海道建築士No.211」に掲載します。また北海道建築士会HP(<http://www.h-ab.com/>)では、第1回～3回の作品も見ることができます。

### 建築士試験「設計製図」合格者(北海道)

	実受験者	合格者	合格率
一級建築士	200	77	38.5%
二級建築士	288	149	51.7%
木造建築士	2	0	0%

情報委員会委員長/神田 光英  
副委員長/斎藤 勝哉・早川 陽子・森 勝利  
委員/高松 徹・熊谷 智・柳山美保子  
鈴木 雅人

### 北海道建築士 No.209号

印刷 平成26年12月/発行 平成27年1月

編集・発行 一般社団法人 北海道建築士会  
〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11番地  
大五ビル  
電話 (011)251-6076番  
URL <http://www.h-ab.com/>

印刷 株式会社 正文舎  
〒003-0802 札幌市白石区菊水2条1丁目  
電話 (011)811-7151番